

CSW 派遣ユースへの経済的支援状況

～アイスランド、イタリア、マルタ共和国、モンゴルの事例調査～

●はじめに

現状、日本においては、CSW へのインターン派遣事業を実施する各団体によって、一定の支援金が給付される場合があるが、それらは飽くまでも政府の出資ではないことを明記したく存じます。私は、今年の CSW にて日本政府代表団のユース代表を拝命したことにより、他の加盟国のユースと交流を図る機会をいただきました。その際に彼女ら彼らと連絡先を交換したため、その連絡先を活用し、他の加盟国における CSW のユース参加者に対する経済的支援状況についてインタビュー調査を実施しました。以下では、アイスランド、イタリア、マルタ共和国、モンゴルから派遣された4名のユースの経験をベースに具体的な事例を提示します。

前提として、以下の4カ国は、「UN Youth Delegate Programme (以下、UNYDP) (鈴木訳:国連のユース代表プログラム)」を導入している加盟国であるという点で共通しています。国連におけるユースの参加形態のひとつに、国連総会や経済社会理事会(ECOSOC)の各種機能委員会の公式代表団に若者の代表を加えることがあります。国レベルでユース代表プログラムを確立し、国連で自国のユースを代表する者を決定することは、加盟国の責任であるとされています。以下の4加盟国においては、同プログラムを既に導入している上に、政府によるユース代表への経済的支援策が確立されています。彼女らの経験を他国のグッド・プラクティスとして紹介し、日本にてアドボカシーを展開する際に役立つ情報となることを願います。

● アイスランドの場合(2024 年 5 月時点)

アイスランドにおける UNYDP は、「National Youth Council (以下、NYC) (鈴木訳:国立ユース評議会)」¹によって運営されており、国連の会議に若者を派遣するために、毎年政府から 22,500 USD (約 350 万円)が支給されます。現在は、6 名のユース代表が選出されており、6 名分の旅費が同資金で賄われる仕組みとなっています。つまり、1 人につき約 3,750 USD (約 59 万円)が支給されます。しかしながら、人によっては現状の資金のみでは不十分である場合もあるため、現在は、NYC がより手厚い経済的支援を求めて政府に交渉しているそうです。さらには、NYC を仲介とした政府による経済的支援に加えて、首相官邸から CSW への参加を望む複数の市民団体向けに資金が提供されるといいます。これにより、ユースは上述の金額に加えて、1,700 USD (約 26 万円)の金額が給付されます。つまり、NYC と 首相官邸の双方から資金を得ることができれば、約 5,450 USD (約 85 万円)の資金援助を獲得することができるため、(滞在期間にもよるが)物価高にも対応可能となります。

¹ アイスランド国内において、41 の子供や若者に関する NGO 団体を統括している団体

● イタリアの場合(2024 年 5 月時点)

イタリアにおける UNYDP は、「The Italian Society for International Organization (以下、SIOI) (鈴木訳:イタリア国際機関協会)」によって運営されており、その団体より直接にユース代表の銀行口座に資金が振り込まれる仕組みとなっています。SIOI は、イタリアの国連協会および国際連合協会世界連盟(WFUNA)の創設メンバーとして、UNYDP を 2017 年に初めてイタリアにて開始して以来、外務省と国際協力省と協働で同プログラムの展開・実施に従事してきた組織です。SIOI は、ユース代表の選出を行うだけでなく、選出された若者が自らの任務を最大限に果たすことができるように、カスタマイズされたトレーニングを実施しています²。インタビュー対象者の回答をもとに更なる調査を行ったところ、イタリアにおいては、経済的支援のみならず、選出されたユース代表向けのトレーニング等³も実施されており、若者のための手厚い支援が保障されていることが明らかとなりました。

● マルタ共和国の場合(2024 年 5 月時点)

マルタ共和国においては、外交政策の策定と実施を管轄し、政府全体の一貫性を確保する役割を担う Ministry for Foreign and European Affairs and Trade (鈴木訳:外務・欧州・貿易省)より、飛行機代が全額支払われ、宿泊代と食費が日当で支給されるといいます。

● モンゴルの場合(2024 年 9 月時点)

Ministry of Labour and Social Protection (鈴木訳:労働・社会保障省)によって航空券代がカバーされ、ニューヨーク滞在期間中は、国連人口基金(UNFPA)より日当で約 500 USD (約7万円)が支給されるといいます。

●最後に

以上、CSW68 のユース代表のインタラクティブ・ダイアログにて出会った4加盟国(アイスランド、イタリア、マルタ共和国、モンゴル)のユース代表の経験をベースとして、他国のユースへの経済的支援状況を紹介しました。情報提供に快くご協力くださった4加盟国のユースには、この場をお借りして御礼を申し上げます。

先述のとおり、2024年9月時点において、日本では国連の公式会議に参加するユース代表に対する、政府による資金提供は一切存在しません。個々人が直面する経済的事情にかかわらず、参加を希望するすべてのユースが挑戦する仕組みを整えるべく、自らの持ち場で声を上げつづけていきます。また、意思決定の場にいらっしゃる方々には、早急に CSW ユース派遣の経済的支援策を講じていただきますようお願い申し上げます。

² The Italian Society for International Organization. (2024). UNYDP – UN Youth Delegate Italy. <https://www.sioi.org/attivita/eventi-speciali/unydp/?lang=en> (Last accessed: 21 Sep 2024).

³ Curlo, J. L., Lamberg, L., & Luts, L. (2023). Global Youth Voices A mapping report of youth delegate programmes to the UN. Future Agents NOW.